



# 北九州GX推進コンソーシアム 支援内容

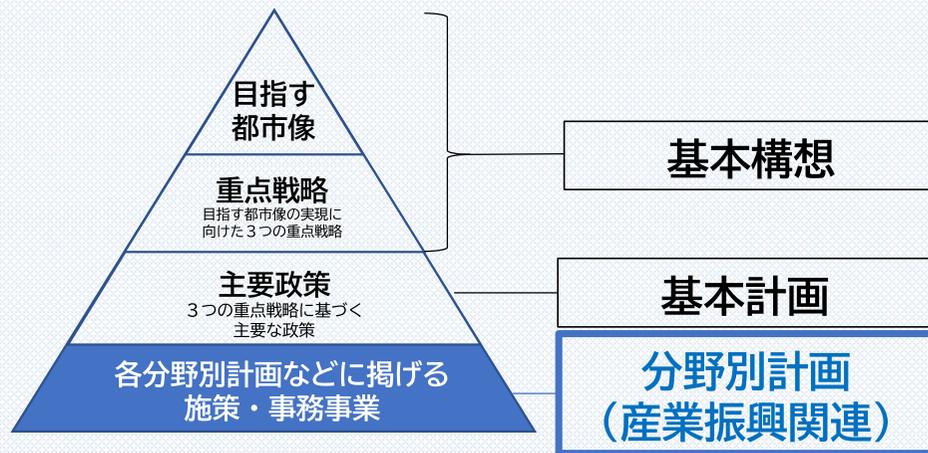
2024年7月26日(金)

北九州市産業経済局 未来産業推進担当課長 岩本 真幸

# 北九州市産業振興未来戦略について

今後のまちづくりの方向性を示す北九州市基本構想・基本計画では、  
経済成長を最優先課題に位置付けており、10年以内に市内総生産「4兆円」  
を目指すこととしています。

本戦略は「稼げるまち」の実現に向けた具体的な道しるべ（指針）であるとともに、  
北九州市基本構想・基本計画の分野別計画という位置づけになります。



## 【計画期間】

5年間（2024年度～2028年度（令和6年度～10年度））の計画とします。

# 戦略で目指す姿と方策（体系図）

【スローガン】 **世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」**  
～課題解決先進都市への挑戦～

実現のための3つの戦略

**[戦略①]**  
地域企業の成長・発展と  
高付加価値化戦略  
〈稼げる企業に変革する〉

**[戦略②]**  
産業の裾野を広げる  
成長産業創出戦略  
〈稼げる企業を創出する〉

**[戦略③]**  
「民」が主役の資源活用戦略  
〈稼げる企業が活躍する〉

戦略を支える6つの横断的方策

**[方策①]**  
産業基盤のポテンシャル  
開花  
〈稼げる場づくり〉

**[方策②]**  
学術研究都市の知の活用と  
GX・グリーン産業の推進  
〈稼げる基盤づくり〉

**[方策③]**  
生産性向上と新しい価値  
創造に向けたDX推進等  
〈稼げる企業づくり〉

**[方策④]**  
DE&I推進による誰もが  
活躍できる環境の整備 (※)  
〈稼げる人材づくり〉

**[方策⑤]**  
アテンションを集める  
ブランディング  
〈稼げるきっかけづくり〉

**[方策⑥]**  
メガリージョンの構築  
〈稼げるエリアづくり〉

※DE&I：多様性(Diversity)・公平性(Equity)・包摂性(Inclusion)を取り入れて公平な機会のもと、多様な人材が互いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現するという概念

# 未来産業推進部について

未来産業部門の体制強化のため、令和6年4月1日付にて組織改編

産業経済局

地域経済振興部

雇用・人材確保

中小企業振興

商店街・サービス産業

産学連携(学術研究都市)

半導体産業

自動車産業

ロボット・DX・GX推進

スタートアップ推進

宇宙産業

未来産業推進部

未来産業推進課 ・ 宇宙産業推進室 ・ スタートアップ推進課

# 北九州GX推進コンソーシアム創設

産学官金オール北九州による  
「北九州GX推進コンソーシアム」を設立。(R5.12)



↑ 設立総会(令和5年12月12日)  
日本製鉄、九州電力、西部ガスなど・参加会員約

240  
社

## 北九州市の優位性

- ものづくり産業の集積、環境分野の先進的な取り組みなどの強みを生かした「グリーンとテクノロジーの掛け合わせ」
- 日本の近代化や環境分野で日本を先導してきた歴史、イノベーションを創出する「一歩先の価値観」

北九州市の強みを生かしてGX投資を呼び込む

# 北九州GX推進コンソーシアムの主な成果



**熱のカーボンニュートラルへ挑戦!!**

**IHI、日本IBMと熱マネジメント実証に着手**  
(R6年1月18日発表)

**北九州市での生産活動再開は17年ぶり!!**

**AGCが水素製造関連製品の新プラント建設決定**  
(150億円、R6年1月30日発表)

**全国3拠点の1つ!!**

**メンバーズが「地域脱炭素DXセンター」を開設**  
(R6年1月31日発表)



環境政策、気候変動対策の第一人者 !!

## 北九州GX推進コンソーシアム顧問

7月3日  
ご登壇

東京大学未来ビジョン研究センター



高村ゆかり 教授



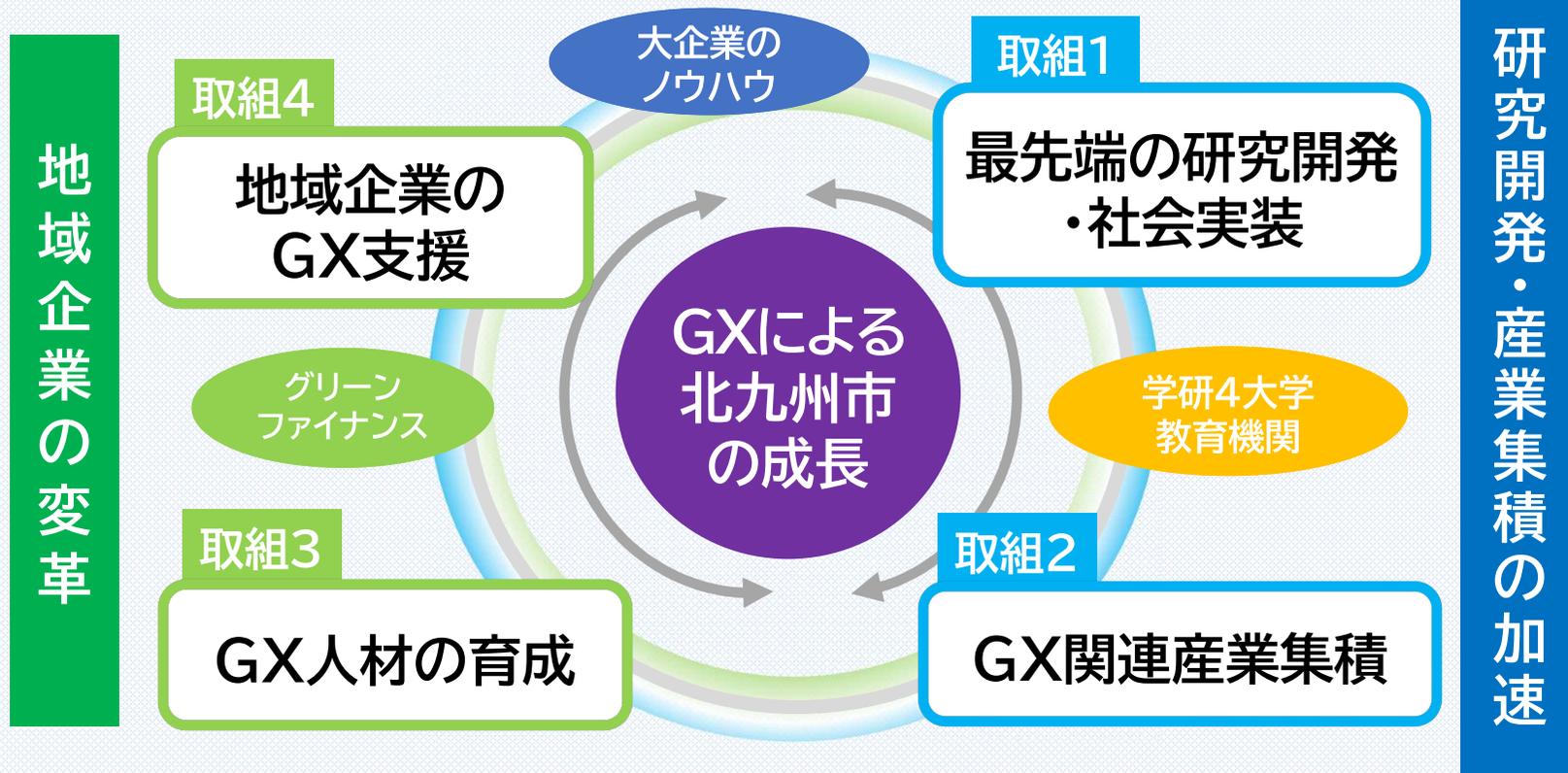
江守正多 教授

最先端の知見を北九州市でも

# 北九州GX推進コンソーシアムの取組み

## ポイント

- 環境系に強い学研の4大学の知見を結集し、研究開発、GX関連産業集積を加速
- 大企業も含めた産学官金のサポートにより地域企業の変革を支援



産学官金オール北九州による推進体制

# オール北九州によるGX推進

## カーボンニュートラルを成長の機会と捉えたGX推進事業

令和6年度当初予算【48百万円】

### 「北九州GX推進コンソーシアム」(令和5年12月12日設立)の取組推進

- ・ コンソーシアム総会、部会の開催
- ・ 経営者向けGXビジネススクール
- ・ CO<sub>2</sub>排出量可視化ツール無償提供(最大2,000社)
- ・ ワンストップ相談窓口、専門家派遣
- ・ GX推進補助金の創設  
地域企業のカーボンニュートラルやビジネスモデル変革に向けた支援

**GXによる地域企業の変革をコンソーシアムが支援**

# 先端テーマ別研究部会

政府が掲げるGX実現に向けた重点分野を視野に、産官学金共創によるプロジェクト創出につなげる部会を設置

産学官金  
「共創」の場

北九州学術研究都市等での研究シーズをさらに発展

5月23日 セミナー開催

次世代燃料、カーボンリサイクル・マテリアル部会

半導体部会

8月27日 セミナー開催

会員のニーズを具体化

設置に向けて調整中

温室効果ガス算定部会

意欲的な議論から、新たな部会設置へ

5月31日 学研都市の脱炭素化をテーマに開催

部会は随時追加

未来共創部会

新しい技術を社会実装につなげていく「共創」の場を形成

# 北九州GXエグゼクティブ・ビジネススクール

## 経営層向けGXビジネススクールを北九州市が開発

第2期  
開講決定

### カリキュラム

第1回 GXを捉える

第2回 自社の立ち位置を明確にする

第3回 自社GHG排出量を知る・測る・減らす

第4回 自社の製品・サービスのGX化

第5回 GXを実現するための手段

第6回 GX実現のためのアクションプラン

- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

実施時期：令和6年10月11日～11月15日（全6回）

受講者数：15社 30名（予定）

現在、受講者募集中



ビジネススクール  
ワークショップ

各社がアクションプランを作成、脱炭素経営の次のステージへ

## 地域企業のCO<sub>2</sub>把握支援

企業のGXに向けた取り組みの第一歩は、CO<sub>2</sub>を把握するところから・・・

北九州GX推進コンソーシアムでは  
CO<sub>2</sub> 排出量可視化ツールを  
無償提供

※ 希望する市内企業

最大  
2000社

現在のCO<sub>2</sub>見える化ツール  
利用企業数  
(2024年7月現在)

26  
社

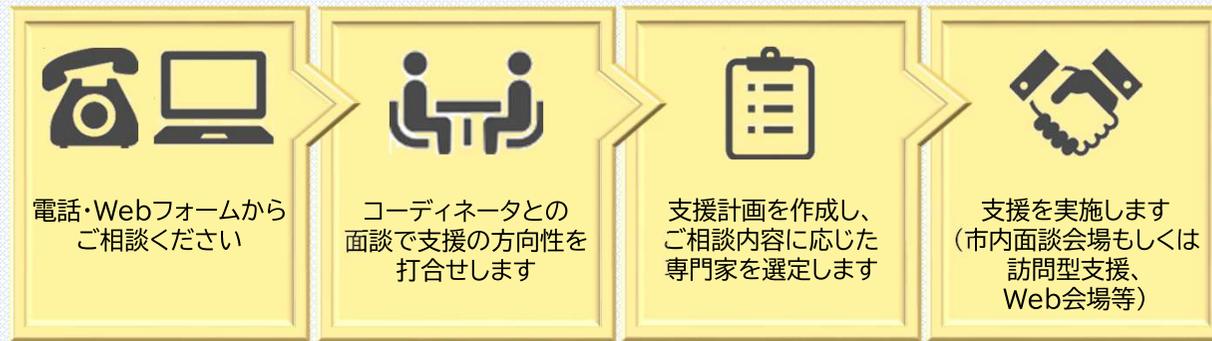


コンソーシアムがアカウントを付与  
無償・無期限で使用できます

自社のCO<sub>2</sub>を把握して、次のアクションへ

# ワンストップ相談窓口・専門家派遣

グリーン成長を目指す企業の相談窓口を設け、  
GXの知識・技術を有する「専門家」による伴走支援を実施



対象  
北九州市内  
企業

相談  
無料

4回  
まで

現在のところ

**15**件  
相談対応中

幅広く  
相談対応

《ボードメンバー》：ワンストップ窓口の中心メンバー

- ・ FAIS、IGES、北九州高専、市、寶結(ワンストップ窓口受託業者)



《専門家》：脱炭素の知見やノウハウを持つ企業群

- ・ 九州電力、西部ガス、IGES、環境テクノス、メンバーズ、フォーバル、ワイエムコンサルティング、デンソー九州、ドーワテクノス、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、東京海上日動・・・

## 専門家による課題解決に向けた伴走支援

# ワンストップ相談窓口・専門家派遣

登録専門家（R6.5月末現在）：**16社** ※随時追加中

## 金融

東京海上日動火災保険会社  
【GX推進に伴うリスクマネジメント】

三菱UFJ銀行

三井住友信託銀行

## カーボンニュートラルに向けた改善支援

## 生産ライン

デンソー九州、ドーワテクノス【IT導入】

ワイエムコンサルティング  
【国内外の最新動向、ロードマップ策定】

IGES  
公益財団法人  
地球環境戦略研究機関

## 省エネ・再エネ

九州電力、西部ガス、  
エネルギー管理協会  
【省エネ補助金】

## 事業変革・新分野参入 計画策定支援

アップルツリー 【国内外の最新動向】

アルファコミュニケーションズ

フォーバル 【中小企業の循環経済型ビジネス支援】

メンバーズ

【企業・商品単位のCO2排出量データの算定・可視化】  
【循環経済モデルによるサービス開発運用】  
【社員・取引先に向けたGX意識改革】  
【GX関連取組みの企業情報発信・CSVマーケティング】

日本電通

## 環境技術など

環境テクノス 【LCA,Jクレジット】

IT導入  
など

## その他

スタートアップ、中小企業支援、企業立地補助・・・

すべてワンストップ  
相談窓口で受け付け

## (新規) GX推進補助金

### 地域企業のGXビジネスモデル変革・新ビジネス創出を推進

R6事業費 1,000万円

交付上限 500万円 補助率 1/2

補助対象者：市内事業者

#### これらに関する取組みを支援

- 自社製品・サービスのカーボンニュートラル
- 新商品・新サービス開発
- 政府が掲げるGX重点分野への進出

**最終調整中**

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作など

**GXで企業価値を高める企業の取組みを支援**

# 地域企業の変革に向けたロードマップ

R 5 年度

R 6 年度

ステップ1 (気づき)

ステップ2 (準備)

ステップ3 (実行)

セミナー・実践事例紹介

GXエグゼクティブ・  
ビジネススクール

CO<sub>2</sub>可視化ツール無償提供

ワンストップ相談  
専門家による指導  
・伴走支援

テーマ別部会設置

R6新規

GX関連事業化支援  
(GX補助金等)

ビジネスモデル変革・  
新ビジネス展開

ビジネスモデル変革・新ビジネス展開に向けて総合的に支援

## これからの主な動き

### 国の施策と連携（金融庁等）



インパクト  
コンソーシアム

インパクトコンソーシアムに北九州市として参画

### G X 新ビジネスを創出

G Xで新ビジネスを創出する企業への支援策を実施  
(例: G X推進補助金制度の創設)

投資促進に向けた金融機関等との連携  
(例: 投資促進部会の設置)

G Xを推進し、北九州市を「稼げるまち」へ

ご清聴ありがとうございました。

